

花き花木生産を通して「心の豊かさ」を 提供できる花き経営体の育成

普及計画外部評価委員会
花植木普及課

●平成27年度から30年度までの普及活動(旧普及計画) 「新たな価値を生み出す経営体を核とした花き花木産地の振興」

<産地>

- 1 花き・花木の**高品質ブランド化に向けた**取り組み
- 2 生産・販売・消費流通を見直し、活性化を目指す**生産組織の活動支援(地域活性化プラン)**

<個別経営体>

- 3 **先端技術**を導入し経営改善を目指す経営体
- 4 新たな**販路拡大**による直販割合の増加
- 5 **持続的な経営改善**を図る経営体の支援

<関係団体>

- 6 「**三重県花き花木振興計画**」の策定
- 7 「**花育・消費PR**」活動推進



中央農業改良普及センター
花植木普及課 課長、他3名
(主に、植木・鉢物・切り花)

花き花木生産を通して「心の豊かさ」を 提供できる花き経営体の育成

1. 理念の明確化（三重県の目指すべき方向）

「社会の中に花が溢れ、「心の豊かさ」が実現され、平和で安全安心に暮らせる社会」を、花き花木の生産・流通・消費を通して実現させていきたい。

2. 対象の明確化（誰に花き花木を利用してもらうか）

普及活動の直接的なパートナーは生産者や生産組織ですが、その生産者や生産組織の向こうにいる消費者（実需者）に対しても、より積極的に対象として活動していきます。

花き花木生産を通して「心の豊かさ」を 提供できる花き経営体の育成

課題

(1) 魅力溢れる花き生産が行える経営体の育成

- ・消費者(実需者)にとって魅力ある「花の価値」の提供
- ・異質なものを柔軟に取り込める生産者の育成
- ・生産・流通体制の整備による安定生産

(2) 「花が生活の中に溢れる」社会づくり

- ・産地(組織)による花の魅力の発信
- ・実際の花に触る(花育)体験

(3) 花き産地を支える人材育成

- ・ニーズに合わせた人材育成(農福連携、外国人労働等)
- ・花き組織での後継者育成システムの確立

普及活動成果指標

指標項目	単位	現状 (2018年度)	→	目標 (2022年度)
(ア)新たなチャレンジを行い経営向上した経営体数	経営体数	—	→	30
(イ)新たな取組を実践し、活性化を目指す産地(組織)数	組織数	—	→	10
(ウ)新たな人材育成の取組を実践する産地(組織)・経営体数	組織・ 経営体数	—	→	20

活動方針

(1)魅力溢れる花き生産が行える経営体の育成

- ・マーケットインの商品開発の実践支援
(新樹種の導入、異業種とのコラボ商品、アドバイザー事業導入)
- ・独自販売ルートの開拓(テーブルウエア―展示会、ギフトショー等出展支援)
- ・栽培環境の改善支援(環境測定・制御技術導入)
- ・物流体制の構築
(生産者の安定生産と消費者(実需者)への安定供給の確保)

(2)「花が生活の中に溢れる」社会づくり

- ・産地(組織)による地域での花育や即売会の支援
(学校での花育事業、花フェスタ、地域「学」フェスティバル等)
- ・実需者への花の新たな利用方法提案
(フィールドトライアルや現地展示商談会等支援)

(3)人材育成

- ・花き産地の空きハウス利用による青年新規就農者の確保育成
- ・農家子弟(親元就農)や第三者によるスムーズな事業承継の促進
- ・農福連携の推進(施設外就労等)による障がい者の雇用創出